


October 16, 2026

Opening Address by the Chair of the Boards of Governors,
the Hon. **CARLOS CARVALLO SPALDING**
Governor of IMF and the World Bank for **PARAGUAY**
at the Joint Annual Discussions

**2026年年次総会**
**総務会議長による演説**
**パラグアイ中央銀行総裁**
**カルロス・カルバロ・スポルディング博士**

閣下、総務、ご出席の皆さま、IMF・世界銀行グループの2026年年次総会にお迎えすることができ、光栄に存じます。

- 最初に、タイ国政府当局と国民の方々の厚いおもてなしと会議運営に、心からの御礼を申し上げます。
- また、国喪に際し、タイ王族・国民の方々に、心よりお悔やみ申し上げます。くわえて、先日の洪水によって人的・物的な損害を被られたバンコク市民の方々との連帯を表明したいと思います。
- 35年前、この同じ国際会議場を舞台に、IMFと世界銀行グループの年次総会がタイで開催されました。同国は、その日から今日までに目覚ましい変容を遂げました。しかし、タイの人々の活気と温かさは、当時も今も変わりません。
- 本会合は、情勢が不安定な中で開催されています。戦争、地政学的緊張、世界債務、貿易摩擦、自然災害、気候リスクによって、経済的な不透明感が増幅されています。加盟国を取り巻く資金調達環境は、ますます厳しいものになっています。新興市場国・発展途上国の1人あたりの所得の伸びは、パンデミック以降で最も弱くなっており、債務増加に伴い借入コストが上昇し、政府、企業、人々の日常生活に悪影響が生じています。
- 私たちが直面する試練は、単独では解決できません。今回、私たちがここに集まったのも、そのためです。結束して行動することの力を私たちは信じていますし、IMFと世界銀行グループは、私たちが進む旅路において大切な協力機関です。
- どちらも不可欠な両機関との協力によって実現できる成果を、私も自分の目で確認してきました。わずか数十年前、パラグアイ経済は重大な岐路に立たされていました。景気が急速に悪化し、通貨が急落する中、物価上昇率が2桁に達していたのです。
- IMFと世界銀行グループの力を借り、パラグアイ国民は長期にわたる経済改革・開発に自国主導で取り組んできました。
- IMFの支援によって、マクロ経済の安定を回復し、財政制度を強化しただけでなく、近年、私たち全員が経験したいくつものショックを乗り越えるための能力も構築することができました。
- 同時に、世界銀行グループは、人々への投資や、重要インフラの強化・整備を通じて、パラグアイの発展を支えてくれました。
- 今日、パラグアイは南米屈指の経済成長を実現しており、経済政策策定の良好な実績に伴い、同国史上初めて投資適格級の格付けを獲得しました。
- 世界の変化に応じて、私たちの制度、枠組み、ツールも適応しなければなりません。ちょうど今年、IMFと世界銀行グループは、共同業務に関する重要な見直しについて、協力して取り組みました。その結果、今後の加盟国支援のあり方が変わることになるでしょう。
- 「**低所得国の債務持続可能性枠組み**」と「**金融セクター評価プログラム**」に対する両機関共同の見直しでは、低所得国の資金調達環境の大規模な変化を反映しました。これらの見直しでは、早期警戒能

力も強化され、金融部門とサイバーセキュリティにおける新興リスクがより広く対象とされました。

- くわえて、IMFは「**サーベイランスの包括的な見直し**」と「**プログラム設計とコンディショナリティの見直し**」を完了しました。これに伴い、IMFのサーベイランス（政策監視）と融資の機動性、各国ニーズとの適合性、有効性が向上することになります。また、これらの努力を補完できるよう、IMFは世界的不均衡の分析業務を推進しました。
- 世界銀行グループは、雇用創出を開発アジェンダの中心に据えるとともに、業務・手順の簡素化と民間資本動員の飛躍的な拡大に向けて、大きく前進しています。
- その成果は、一目瞭然です。2026年度、世界銀行グループによる民間資本の動員額は3倍以上に増加しました。この資本は目に見える効果を生み、経済成長を促進し、雇用を創出し、人々の暮らしを変えています。
- 雇用創出にくわえ、私たちには未来への備えが必要です。成長の促進、業務効率性の改善、先端技術革新の推進のために、人工知能（AI）をどう活用するのが最善策なのか理解できるよう、私たちの誰もが模索しています。今回の会合でも、IMFと世界銀行グループが前進し、AIを重要テーマとして取り上げていることを、喜ばしく思います。
- マクロ経済・労働市場へのAIの影響を管理できるよう各国を助けることから、軽量型AIの開発戦略を提供することまで、加盟国がリスクのバランスをとりつつAI技術が秘める力を駆使できるように、両機関は支援に注力しています。
- 私たちは重大な局面を迎えていますが、世界経済はこれまでも歴史的な変化を乗り越えてきました。
- 前回のバンコクでの年次総会の時点で、その後の35年間に実現されることになる多大な進歩を予測できた人はごく少数だったことでしょう。
- 未来は不確実かもしれませんが、今日の私たちの行動が、その未来を形作る一助となります。手を携え、共通の繁栄と飛躍的成長の新たな35年を築けるように、舵を取ろうではありませんか。ご清聴、ありがとうございました。